

# 南伊豆・西伊豆地域公共交通網形成計画

平成28年3月

静岡県・沼津市・下田市・伊豆市

南伊豆町・松崎町・西伊豆町



# 目次

<b>序章</b>	<b>はじめに</b> .....	<b>1</b>
序-1	策定の背景、目的.....	1
序-2	計画の位置付け.....	1
序-3	計画の区域（構成する市町）.....	2
序-4	計画の策定体制及び経緯.....	2
	1 計画策定の体制.....	2
	2 開催の経緯.....	3
序-5	計画策定フロー.....	3
序-6	調査の実施概要.....	4
<b>第1章</b>	<b>南伊豆・西伊豆地域を取り巻く現状</b> .....	<b>7</b>
1-1	地域の概況.....	7
	1 地形、道路網、港湾施設.....	7
	2 土地利用.....	8
	3 人口の構成及び分布.....	9
	4 自動車及び免許保有状況.....	13
	5 既存施設の立地状況.....	15
	6 関係市町における新たな施設立地等の動向.....	18
	7 産業構造、事業所、従業者分布.....	20
	8 観光資源.....	22
1-2	公共交通の状況.....	26
	1 公共交通網の状況.....	26
	2 サービス提供範囲（高校通学、病院通院可能圏域）.....	35
	3 路線バス実績概況.....	37
	4 その他交通モードの状況.....	39
	5 県の公共交通への支援.....	41
	6 市町のバス、タクシーへの支援.....	42
	7 フリーパス、観光セット券等.....	47
1-3	利用者の移動実態と公共交通へのニーズ.....	48
	1 移動実態（既存データ）.....	48
	2 公共交通の利用実態.....	53
	3 地域間路線の便別乗車状況.....	57
	4 移動の実態及び意向.....	65
1-4	現状と問題点のまとめ.....	89
	1 地域の概況.....	89
	2 公共交通の状況.....	89
	3 利用者の移動実態とニーズ.....	90

<b>第2章 課題の整理</b> .....	<b>91</b>
2-1 公共交通の課題 .....	91
1 人口減少 .....	91
2 広域の幹線バス .....	93
3 市町自主運行バスなど、その他の路線バス .....	97
4 交通空白地域 .....	100
5 交通結節点 .....	100
6 観光客の移動 .....	103
2-2 市町別の整理 .....	107
1 沼津市戸田地区 .....	107
2 下田市 .....	107
3 伊豆市 .....	108
4 南伊豆町 .....	109
5 松崎町 .....	111
6 西伊豆町 .....	111
2-3 上位計画、関連計画の確認 .....	113
1 国、県の計画 .....	114
2 関係市町の計画 .....	120
3 各市町の拠点や施設立地・統合等への対応 .....	127
<b>第3章 基本の方針と計画の目標</b> .....	<b>128</b>
3-1 基本の方針 .....	128
3-2 計画の期間 .....	128
3-3 計画の数値目標 .....	129
<b>第4章 課題解決のための取組</b> .....	<b>132</b>
4-1 課題解決のための取組、実施主体 .....	132
4-2 実施スケジュール .....	134
4-3 取組位置図 .....	135
4-4 取組内容 .....	136
<b>第5章 計画の実現に向けて</b> .....	<b>144</b>
5-1 計画の推進体制 .....	144
5-2 評価の進め方と時期 .....	145
<b>参考資料</b> .....	<b>146</b>

# 序章 はじめに

## 序－１ 策定の背景、目的

南伊豆・西伊豆地域（沼津市戸田地区、下田市、伊豆市、南伊豆町、松崎町、西伊豆町）は、地域の大半が過疎地域であり、人口減少・少子高齢化が著しい地域である。また、当地域では、伊豆箱根鉄道駿豆線の修善寺駅から土肥、西伊豆、松崎、下田まで西海岸には鉄道がなく、路線バスが基幹的な公共交通の役割を担っている。このような中、民間事業者が運行する広域幹線バス３系統が平成 26 年度の運行が赤字の見込みとなり、平成 26 年 9 月に静岡県生活交通確保対策協議会に対し、単独継続維持が困難となった旨の申出書が提出されるなど、当地域において路線バスを維持・確保していくことが極めて難しい状況となってきた。

このような状況に対応するため、県では、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、平成 27 年 3 月に検討組織である法定協議会を設置し、人口減少・少子高齢化が著しい当地域における地域公共交通についての現状・課題を把握した上で、これらの課題を解決するための再編の方向性を示す「地域公共交通網形成計画」を平成 27 年度末までに策定し、これを基に翌年度に具体化を進めることとした。

## 序－２ 計画の位置付け

平成 25 年 12 月に、交通に関する基本理念等を明らかにする「交通政策基本法」が施行され、本法に基づき、国が交通政策基本計画を策定した。また、地方公共団体は、「国との適切な役割分担を踏まえ、その地方公共団体の区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、実施する責務を有する」とされた。

また、これに合わせて「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が改正され、都道府県が主体的に地域公共交通網形成計画を策定できることとされたため、本県が当地域における公共交通網の再編に関するマスタープランとして策定するものである。

なお、同法第 5 条第 1 項に基づき、静岡県と関係市町が共同して策定するものとする。

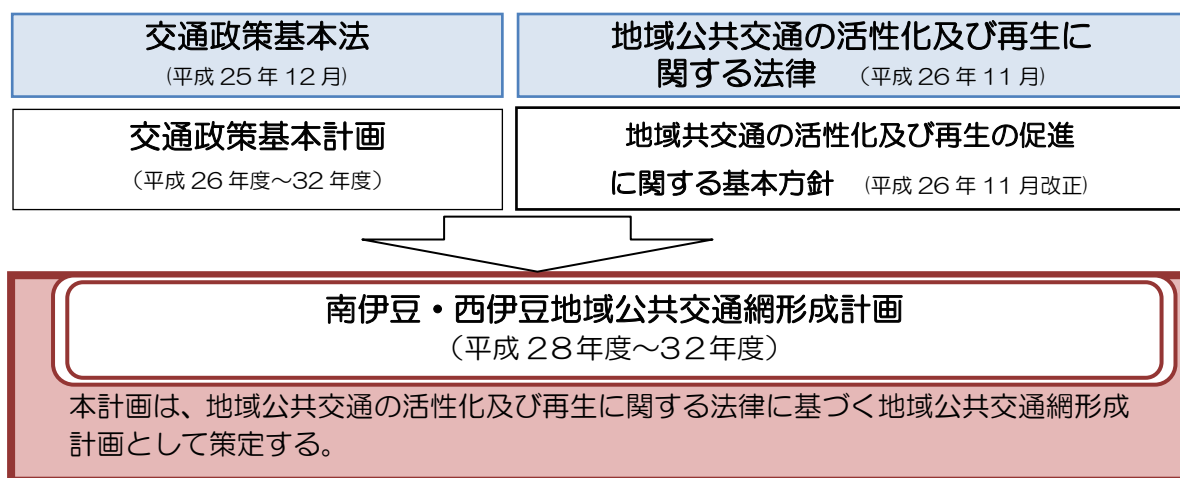


図 1 計画の位置付け

### 序－3 計画の区域（構成する市町）

伊豆半島地域のうち、沼津市戸田地区、伊豆市土肥地区、南伊豆町、松崎町、西伊豆町が過疎地域となっているなど、南伊豆・西伊豆地域は、県下でも人口減少・少子高齢化が著しい地域である。

また、伊豆半島内の鉄道は、熱海市から下田市までJR伊東線・伊豆急行線が運行し、三島市から伊豆市修善寺地区まで伊豆箱根鉄道が運行しているが、当地域には鉄道が無く、路線バスが基幹的な公共交通である。

このような状況を踏まえ、伊豆半島のうち、路線バスを維持・確保するにあたり危機的状況である南伊豆・西伊豆地域（沼津市（戸田地区）、下田市、伊豆市、南伊豆町、松崎町、西伊豆町）を先行して計画を策定することとする。

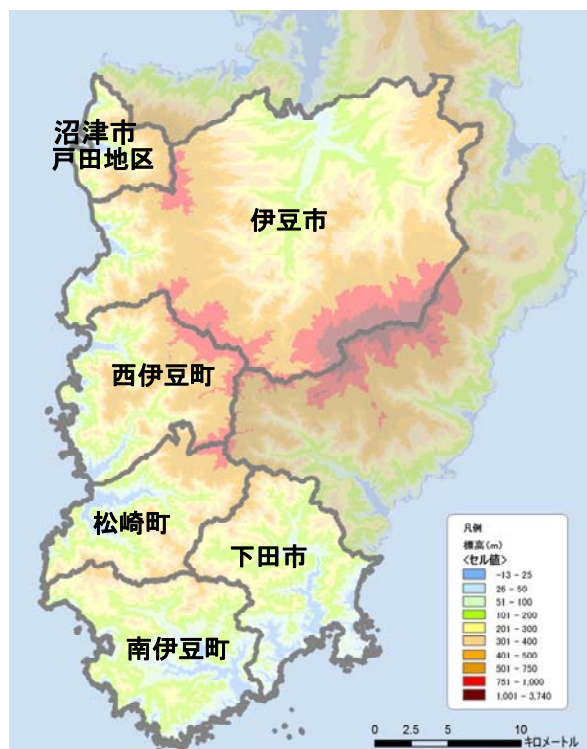


図 2 計画の区域

表 1 計画対象の市町・地区の人口構成

市町村名	年少人口(0-14歳)		生産年齢人口(15-64歳)		老年人口(64歳以上)	
	総人口に占める割合		総人口に占める割合		総人口に占める割合	
県計	487,618	13.3%	2,193,842	59.7%	994,484	27.1%
管内計	7,936	9.6%	42,230	51.2%	32,366	39.2%
沼津市戸田	205	6.5%	1,546	49.3%	1,384	44.1%
下田市	2,326	10.0%	12,159	52.1%	8,853	37.9%
伊豆市	3,132	9.9%	17,090	53.8%	11,570	36.4%
南伊豆町	895	10.1%	4,172	47.3%	3,761	42.6%
松崎町	665	9.6%	3,348	48.3%	2,913	42.1%
西伊豆町	713	8.4%	3,915	46.0%	3,885	45.6%

平成 26 年 10 月 1 日現在（推計値）、沼津市は住民基本台帳（9 月末現在）

### 序－4 計画の策定体制及び経緯

#### 1 計画策定の体制

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき平成 27 年 3 月に設置した「南伊豆・西伊豆地域公共交通活性化協議会」において、各種調査の実施や計画方針や再編に係る内容等の協議を行い、本計画を策定した。

また、現状の把握、課題の整理、方針・目標の設定などについて、委員間の協議・調整を円滑に実施するため、担当者会議を開催し、実務担当者間による検討を進めた。

## ＜南伊豆・西伊豆地域公共交通活性化協議会＞

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第6条第1項の規定に基づき、法定協議会として、南伊豆・西伊豆地域公共交通網形成計画の作成に関する協議及び実施に係る連絡調整を行うことを目的として、「南伊豆・西伊豆地域公共交通活性化協議会」を平成27年3月に設置した（委員名簿は参考資料－1参照）。本協議会は、道路運送法に基づく都道府県協議会の分科会組織としての位置付けを有し、さらに当協議会の分科会として、各市町が設置する「地域公共交通会議」を位置付け、同会議に参画する公共交通の利用者代表等に説明・意見聴取を行い、南伊豆・西伊豆地域公共交通網形成計画を策定した。

## 2 開催の経緯

### (1) 南伊豆・西伊豆地域公共交通活性化協議会

回	開催日時	協議事項
第1回	平成27年3月26日(木)	協議会の設置について 調査事業の国庫補助申請について(報告)
第2回	平成27年6月18日(木)	平成27年度事業計画及び予算について 企画提案審査委員会の結果について(報告) 下田市における平成26年度調査事業について(報告)
第3回	平成28年1月12日(月)	調査結果、課題、分析結果について(報告) 方針設定、方向性、実現のための取組について
第4回	平成28年3月22日(火)	地域公共交通網形成計画(案)について

### (2) 担当者会議

回	開催日時	協議事項
第1回	平成27年6月9日(火)	予算について 地域における公共交通の現状について
第2回	平成27年8月5日(水)	地域における公共交通の課題について 調査の実施について
第3回	平成27年10月27日(火)	調査結果の報告、意見交換
第4回	平成27年12月9日(火)	調査結果、課題、分析結果について
第5回	平成27年12月21日(月)	方針設定、方向性、実現のための取組について
第6回	平成28年3月2日(水)	地域公共交通網形成計画(案)について

### (観光関係)

回	開催日時	協議事項
第1回	平成27年12月1日(火)	計画策定について、現状の把握について
第2回	平成27年12月21日(火)	現状と課題について 課題に対応した取組案について 意見交換

## 序－5 計画策定フロー

本計画の策定に当たっては、「地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針」（平成26年総務省告示・国土交通省告示第1号）における地域公共交通の活性化及び再生の意義、「拠点同士、あるいは拠点と居住エリアを結ぶ地域公共交通網の充実」や、「便利で利用しやすい公共交通の整備は、地域の交流拡大・観光振興の基盤として重要」などを踏まえた。また、基本方針では、「個別・局所的な対応ではなく、地域の実情や住民、来訪者のニーズを十分に把握把握した上で検討、調整が行われることが必要」とされている。

このため、公共交通を利用する住民へのアンケート調査を実施するとともに、特に交通弱者である高校生や高齢者に対して詳細な動向、意向の把握に努めた。また、来訪する観光客の動向、意向を把握するため、国が実施した観光客アンケート調査の結果を入手し、現状・課題の把握を行った。

本調査の実施による計画策定フローを下図に示す。

- はじめに、地域を取り巻く現状について「地域の概況」、「公共交通の状況」、「利用者の移動実態とニーズ」の観点で調査結果の整理を行った。
- 次に、当地域における課題の整理を行った。地域を取り巻く現状について、実施した調査をもとに、「地域の概況」、「公共交通の状況」、「利用者の移動実態とニーズ」の三つの視点で現状をとりまとめ、その結果をもとに分析を行う。
- 把握した現状と、上位計画・関連計画をもとに当地域の課題を整理し、基本の方針、計画期間、数値目標、課題解決のための取組、評価に関する事項を設定した。

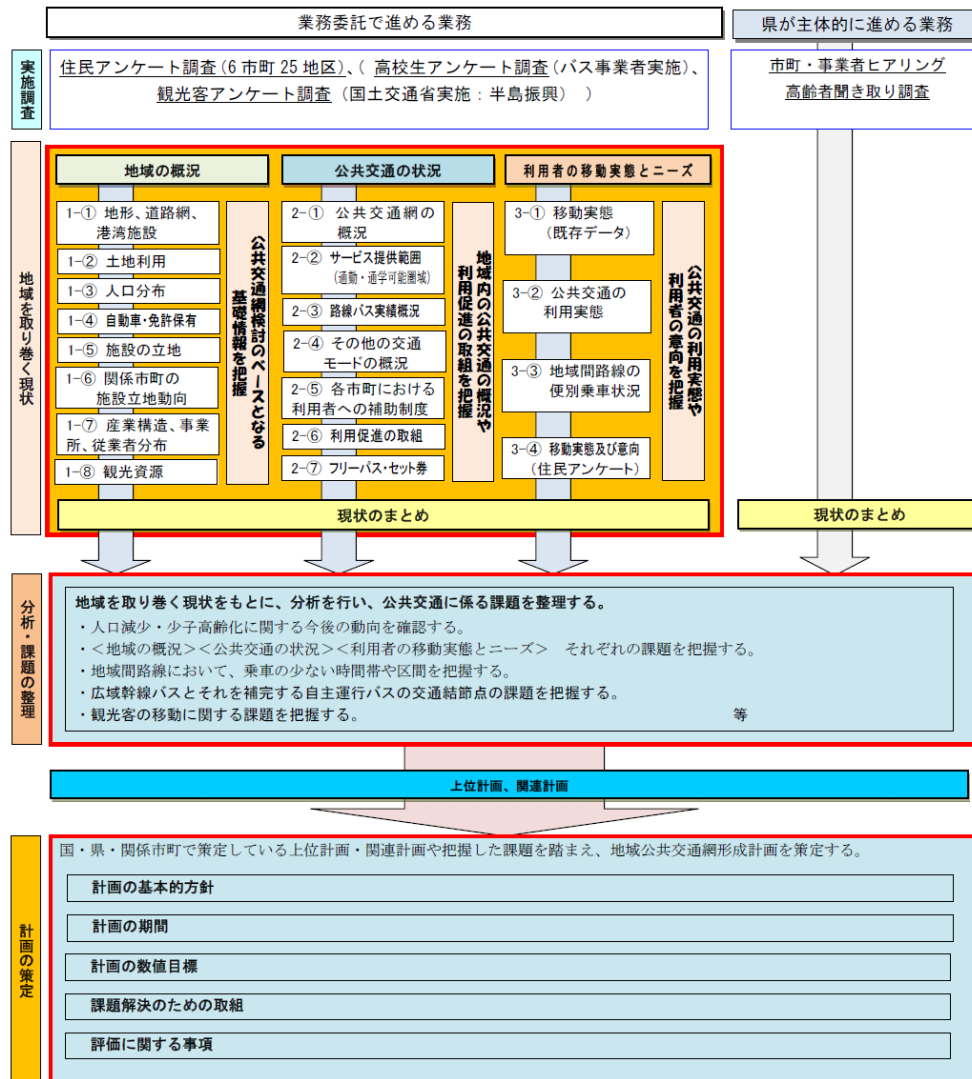


図 3 計画策定フロー

## 序－6 調査の実施概要

計画策定に向け実施及び活用した5つの調査の概要を整理する。

### (1) 住民アンケート調査 (6市町 25地区)

伊豆半島5市町(伊豆市、沼津市戸田地区、南伊豆町、松崎町、西伊豆町)に在住の方を対象として配布数を設定し、1世帯あたり2票調査票を同封したアンケート調査を実施した。な



お、下田市は平成 26 年度に実施したアンケート結果を利用した。

伊豆半島 5 市町（伊豆市、沼津市戸田地区、南伊豆町、松崎町、西伊豆町）の調査は、平成 27 年 9 月 9 日（水）～9 月 24 日（木）において、各市町の人口構成に応じて、住民基本台帳から無作為で 15 歳以上の方を対象に抽出し、対象者へ郵送配布、郵送回収で実施した。

調査項目は、①個人属性、②外出実態、③公共交通の利用実態、④公共交通に対するニーズ等を設定し、地域住民の移動実態及び公共交通のニーズを把握した。

表 2 住民アンケート調査の配布、回収数

項目	配布世帯数	回収世帯数	回収割合	回収票数
伊豆市	1,000	296	29.6%	492
沼津市戸田地区	250	74	29.6%	121
南伊豆町	1,500	554	36.9%	862
松崎町	1,000	337	33.7%	527
西伊豆町	1,000	320	32.0%	520
下田市※	8,500	3,176	37.4%	3,176

## (2) 高校生アンケート調査（バス事業者実施）

当地域内の高校、及び当地域に居住する高校生が通う可能性が高い高校として、以下の 19 校を対象としたアンケート調査をバス事業者（東海自動車、伊豆箱根バス）が実施した。

調査項目は、①個人属性、②通学時の路線バスの利用実態、③路線バスの不満内容、④路線バスを利用しない理由、⑤その他（時刻表や時刻検索サイトなどの認知）を設定し、高校生の通学実態及び路線バスに関する意向を把握した。

対象高校（計 19 校）

熱海高校、伊東高校、伊東商業高校、伊東高校城ヶ崎分校、稲取高校、下田高校、  
下田高校南伊豆分校、松崎高校、土肥高校、伊豆総合高校、伊豆中央高校、  
沼津工業高校、沼津商業高校、韮山高校、田方農業高校、三島南高校、三島北高校、  
三島長陵高校、沼津城北高校

## (3) 観光客アンケート調査（国土交通省実施：半島振興連携促進調査事業）

国土交通省の半島振興連携促進調査事業の調査として、以下の 2 種類の調査を実施している。

### ■Webアンケート調査

【調査対象】・首都圏 1 都 7 県、東海 3 県・静岡県の登録モニター

・過去 5 年間に公共交通を利用し宿泊を伴って伊豆中南部地域に来訪したことのある人

【調査日】平成 27 年 7 月下旬 8 月上旬

【回収数】計 1,654 サンプル（首都圏 1,240 サンプル、東海 414 サンプル）

### ■交通結節点アンケート調査

【調査対象】・伊豆急行（熱川駅、稲取駅、河津駅、伊豆急下田駅）

・伊豆箱根鉄道（修善寺駅） ・東海バス（修善寺、土肥、堂ヶ島、伊東）

・観光案内所（戸田、伊東、三島） ・伊東駅

【調査日】平成27年8月1,2日及び8日,9日（修善寺のみ）

【回収数】計 334 サンプル

#### (4) 市町・事業者ヒアリング調査

各市町の課題や課題への対応方針等を把握する市町ヒアリングを実施した。また、交通事業者として鉄道、フェリー事業者を対象に、サービス提供の考え方や、公共交通に関する課題等についてヒアリングを実施した。

##### ■市町ヒアリング

市町名	第1回	第2回	第3回
西伊豆町	平成27年8月28日(金)	平成27年11月20日(金)	平成28年1月6日(水)
伊豆市	平成27年9月2日(水)	平成27年11月10日(火)	平成28年1月7日(木)
沼津市	平成27年9月2日(水)	平成27年11月11日(水)	平成28年1月7日(木)
松崎町	平成27年9月7日(月)	平成27年11月20日(金)	平成28年1月6日(水)
下田市	平成27年9月8日(木)	平成27年11月16日(月)	平成28年1月8日(金)
南伊豆町	平成27年9月8日(木)	平成27年11月16日(月)	平成28年1月6日(水)

##### ■事業者ヒアリング

事業者名	第1回
伊豆箱根鉄道株式会社	平成27年9月2日(水)
株式会社エスパルスドリームフェリー	平成27年9月7日(月)
伊豆急行株式会社	平成27年9月8日(火)

#### (5) 高齢者聞き取り調査

各市町において、高齢者を対象とした聞き取り調査を実施した。聞き取り内容としては、①参加者の属性、②運転免許の保有状況、③公共交通の利用の有無、④バスをはじめとする公共交通に関する意見等を聞き取りした。

調査はヒアリング形式や記述方式により実施により実施した。なお、公共交通に関する意見要望については、丁寧に直接聞き取りを行った。

表 3 高齢者聞き取り調査の実施概要

市町名	実施日時	場所	参加者数
沼津市戸田地区	9月16日	道の駅「くるら戸田」	38名
下田市	10月1日	下田市民文化会館	20名
伊豆市土肥地区	9月24日	大藪地区公会堂 下村公会堂	16名 15名
伊豆市天城湯ヶ島地区	11月10日	市山区公会堂	20名
伊豆市中伊豆地区	11月18日	冷川公会堂	12名
南伊豆町	9月30日	南伊豆町 武道館	44名
松崎町	10月5日	松崎町 社会福祉協議会会議室	13名
西伊豆町	9月16日	西伊豆町 社会福祉センター	39名

※全て平成27年に実施。